

【4月の休館日】
1日(金) 5日(火) 12日(火)
19日(火) 26日(火)
※感染症の拡大状況により、開館
内容を変更およびイベントを中
止する場合があります。

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-17:30 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

- ◆書道展(書苑社)
～4/4(月) ※最終日は15時まで
▶1階 ワクワクワ広場
- ◆子どもの折り紙教室
4/3(日) 11:00-11:30
▶1階 ワクワクワ広場
- ◆上映会 **大人向け**
「英国王のスピーチ」
4/9・16(土) 14:30-16:35
- ◆スタッフのおはなし会 ①
4/10(日) 11:00-11:30
▶1階 こどもコーナー
- ◆スタッフのおはなし会 ②
4/17(日) 11:00-11:30
▶1階 こどもコーナー
- ◆上映会 **子ども向け**
「おしりたんてい8
ブブウたがわれたけいじ」
4/23(土) 14:30-15:35
- ◆スタッフのおはなし会 ③
4/24(日) 11:00-11:30
▶1階 こどもコーナー

☎…要申込

子どもたちの健やかな成長を祈って 工作体験「鯉のぼりづくり」



PICK UP

「端午の節句」に欠かせない「鯉のぼり」をレーザーカッターを使って作ります。うろこの部分は手を汚さないフィンガーペイントで色塗り。オリジナルの「鯉のぼり」を作り、健康や幸せを祈りませんか。

場所▶1階 ものづくりラボ
参加費▶300円(1個作成分)
※1家族2個まで

時間▶①13時30分～
②15時00分～

日にち▶4月17日(日)
4月29日(金)
4月30日(土)
5月5日(木)

※各回2家族に限定します。
※事前申込が必要です。
※小学2年生以下は保護者同伴。
※汚れてもいい服装で参加。

「こどもの読書週間」関連イベント ふくちのちグッズくじ

期間内の「スタッフのおはなし会」「子どもの折り紙教室」「子ども向け上映会」に参加してくじを引き、当たるとふくちのちグッズをプレゼント。くじが無くなり次第終了します。

期間▶4月17日(日)
～5月29日(日)

約400年の歴史を古上野から学ぶ 春の企画展「上野焼」

春の窯開きに合わせ、山地直樹氏の寄贈品・古上野など町所蔵資料を一挙公開。企画展で上野焼の歴史と魅力を学んだ後は、窯開きで現代の上野焼をお楽しみください。

場所▶1階 企画展示室
期間▶4月20日(水)
～5月30日(月)

→上野焼「春の窯開き」の詳細は
今月号の裏表紙で紹介しています

新着本

伝説の家政婦
沸騰ワード10レシピ
タサン志麻/著(ワニブックス)
一冊でわかる鎌倉時代
大石学/監修(河出書房新社)

いつか家族でやりたい
99の楽しいことリスト
むびー/著(CCCメディアハウス)
セルフコントロール大全
堀田秀吾/著(ディスカヴァー・トゥエンティワン)

はなになりました
内田麟太郎/文(童心社)
へんしん!いろいろれっしや
ふくながじゅんべい/さく(交通新聞社)

すみっこぐらしの
勉強が好きになる方法
藤枝真奈/監修(主婦と生活社)
なかよくなれるかな
今井福子/作(文研出版)

福智の風

▶街を見ればどこもかしこも桜で溢れるこの季節。思い返すと様々なシーンに桜がそっと寄り添ってくれていたことに気がきます。当たり前になるとその価値に気付かなくなりますが、目を向け感謝し続ける心をもつことが大切だと広報を通して学んできました。今後も感謝の心を大切に頑張っていきたいと思います。Special Thanks Ryo.K(藤本)

▶成年年齢引き下げにより4月から18歳以上が大人(成人)となりました。私が18歳のときを振り返ると、大人になってほんと大丈夫なのかと感じます。しかし、今回の取材で18歳・19歳の人たちは、こうなりたいとか自分の考えをもち、発言や態度、挨拶にしても大人としての自覚をしっかりと持っていたと感じました。(世良)

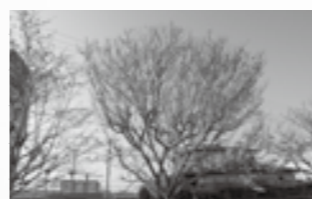
ばあつた
福知
町の魅力を
ご紹介!

DATE: May.2022
NO: 044

自然編

●町指定天然記念物の子ども

「ふくちのち」の エドヒガン



虎尾桜の遺伝子を引き継ぐ身近な桜「ふくちのち」の正面左側の並木の中に、接ぎ木して虎尾桜の遺伝子を引き継いだエドヒガンの桜があります。柵越してはありますが、エドヒガンや虎尾桜の特徴を身近で見ることが可能。また、上野地区の堀田公園にも同じく虎尾桜のDNAを引き継いだエドヒガンが植えられています。

四季の歌

心映の投句 俳句・短歌教室の詠歌紹介

落の臺句会
六歳の入試済ませし寝顔かな
おぼつかない片言まじる初音かな
雪消跡結んで蕾んで落の臺
蓮華野の色黄昏に奪はれし
願ひの香ゆるゆる昇る初諷経

大井 良治
落合 東太
木村 誠一
藤井耿之介
宮崎富美子

野火走る龍が天に昇るごと
切干に陽の味風の味載せし
はな俳句会
盆梅の樹齡重ねし氣品かな
人はみな思ひ出残し春を待つ
木々の間を歌ひ羽ばたく鳥の恋
華麗なるリンクの舞や春たちぬ

山本ひろし
高津 澄子
岩井鬼童選
馬郡 京子
藤本 鈴子
豊田 保
山田 花子

方城句会
一葉に似しはかなさや紙籬
雪空を一本背負いスノーボード
春雨やエンドウの若葉生き活きと
頂を間近にケルンをあと幾つ

藤井耿之介
婆ニヤン
想 史
檜 幽可

過疎村の長寿を願ひ鶴帰る
せせらぎの切子光りに寒明くる
福を呼ぶ梅の蕾の紅白に
戦争は時代遅れや凍返る
春日和猫のふて寝の出窓かな
碧空に雪の稜線煌めけり
愛し子の髪に飾りし風車
通学の子の耳真つ赤春寒し
ヤッホーの笄の余韻山笑ふ

二宮 正人
松岡 萬枝
西田 真美
岩井 童子
清原サヨ子
小野 美幸
倉石嘉代子
小六西田 芽生
選者 吟

建部三由紀選